

2021年7月20日開催 横浜国際協力センター30周年記念イベント スピーカーリスト

① 14:00～14:30 主催者および来賓挨拶



主催者挨拶

横浜市副市長 林琢己

1985年に横浜市に入庁。2012年から2014年まで金沢区長を務める。2015年経済局長就任後、2020年4月より横浜市副市長。アジア・スマートシティ会議で登壇するなど「未来へつなぐ国際都市・横浜」を基本目標として様々な国際施策を推進している。



横浜市会挨拶

横浜市会副議長 高橋正治議員

東芝グループにて、光ファイル免許システム等の開発に従事後、2003年4月、横浜市議員に当選。2015年には、公明党横浜市議員団団長を務め、2021年5月、横浜市会第59代副議長に就任。



外務省挨拶

外務大臣政務官 中西哲氏

1999年に高知県議にて初当選後、4期連続での当選を経て2011年に高知県議会議長就任。その後2016年参議院議員選挙にて初当選し、参議院外交防衛委員会理事を経て2020年9月より外務大臣政務官。

国際連合挨拶 国連世界食糧計画（WFP）事務局次長

ウテ・クラマート氏

2019年2月、WFP 国連世界食糧計画のパートナーシップ&アドボカシー担当事務局次長に就任。政府、国連機関、民間セクター、その他のパートナーとの組織のパートナーシップと資金調達活動を統括。

※国連世界食糧計画（WFP）

「飢餓と闘う努力、紛争影響下の地域における平和実現の条件改善への貢献、飢餓が戦争や紛争の武器として利用されないための努力」を評価されノーベル平和賞受賞



アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）卒業生

米国国務省外交通訳者 レフテリ・カファト氏

ハワイ大学卒業後、2001-2002年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで学ぶ。その後モンテレー国際大学院を卒業し、2016年より米国国務省にてDiplomatic Interpreter（外交通訳）として活躍中。

※2016年にオバマ米国大統領（当時）が現職大統領として初めて被爆地・広島を訪問した際には大統領付き外交通訳者として活躍

② 14:30~15:00 入居機関セッション



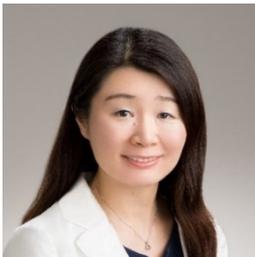
国際熱帯木材機関（ITTO） 川口才文財務担当官

2007年、横浜市国際交流協会の国際機関支援嘱託職員として、国際熱帯木材機関(ITTO)に出向。2009年同機関の職員となり、2016年より現在まで財務担当官を務める。



アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC） ブルース・バートン所長

オレゴン大学卒業後、1989年にスタンフォード大学博士号を取得（専攻 Japanese History）。その後桜美林大学専任教員を経て、1991年から4年間アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター所長を務め、2016年より再び同センター所長に就任。



国連世界食糧計画（WFP）日本事務所 焼家直絵代表

ローマ本部勤務、ブータン事務所事業担当官などを経て2009年から日本事務所にて資金調達を担当。その後シエラレオネ事務所副代表、ミャンマー事務所副代表を経て2017年6月に日本事務所代表就任。



国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所 日比絵里子所長

FAO シリア事務所長、太平洋諸島地域支所所長などを歴任。

2016年9月にサモア独立国アピアにてFAO 大洋州事務所長として着任し、2020年7月末、サモア独立国アピアから帰国。9月第二週より、在日連絡事務所長の任務を開始する。



横浜市国際交流協会（YOKE） 小野崎信之理事長

横浜市港北区副区長、緑区長などを歴任。2020年4月から公益財団法人横浜市国際交流協会理事長に就任し、国際都市横浜の歴史的・文化的特性を継承しつつ、異なる文化や価値観をともに認め、尊重し合える豊かな社会づくりに取り組んでいる。



シティネット横浜プロジェクトオフィス（CYO）

平田ケンドラ事業課長

企業内講師や福祉関連の NPO 等で経験を積み、シティネットで勤務を開始。今年で 12 年になる。特に人材育成の観点から新興国地域のプロジェクトに取り組んでいる。2019 年にはネパール初の防災教育センターの設立に携わった。



国際農業開発基金（IFAD）

ロン・ハートマン グローバルエンゲージメント・パートナーシップ資金動員部長

IFAD 本部において加盟国とのパートナーシップ強化、G7・G20 等のグローバル協調、資金動員を担当。IFAD 南西アジア地域・太平洋サブ地域局代表、国別事業マネージャー（タイ、ネパール、太平洋島諸国担当）、ポートフォリオアドバイザー等を経て 2019 年より現職。豪州出身。